

医危第1626号
令和3年7月28日

神奈川モデル認定医療機関 院長 殿

神奈川県知事 黒岩 祐治
(公 印 省 略)

病床確保フェーズの引上げ及び退院基準を満たした患者等の積極的な受入れについて（要請）

日頃から本県の感染症対策に格別の御理解と御協力をいただき、また、新型コロナウイルス感染症に係る医療の提供の継続に御尽力くださり、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れる認定医療機関（高度・重点・協力⑤）の皆様には、現在、病床確保フェーズ（以下「フェーズ」）「3」の病床を日々確保していただいているところです。

しかしながら、直近の7月では、7月27日には新規感染者数が4月以降の最多を更新する758人となったほか、入院者数が7月1日の414人（うち中等症・軽症375人）から7月27日には744人（うち中等症・軽症687人）になるなど、急増傾向が続いています（平均増加率約3%/日）。

いわゆるデルタ株の浸透が懸念される中、今後も、入院者の増加が見込まれることから、本日、特に入院者数が増えている中等症及び軽症の病床のみ、フェーズを「3」から「4」に引き上げることを本県として決定しました。

つきましては、「病床確保フェーズに応じた確保病床に関する協定書」第2条に基づき、中等症及び軽症の病床について、本日から3週間以内に、各認定医療機関に設定されているフェーズ「4」の確保病床数まで即応病床を拡大していただくことを要請します。

また、入院患者の増加に伴い、退院基準を満たした患者の後方搬送や疑似症患者の増加も見込まれることから、これらの患者を受け入れる認定医療機関（協力①②③④）においても、各認定医療機関の役割に応じた積極的な受入を行っていただくよう要請します。